

ロシアによるウクライナ侵略の状況

(2022年12月20日時点)

▶ **ウクライナ軍が南部及び東部の露軍への反撃を継続する一方、露軍は東部ドネツク州における占領地拡大に向けた作戦や各地の民生インフラに対する攻撃を継続している模様**

戦闘による人的被害・物的損耗の状況

露軍: 死者5937人(ショイグ国防相発言9月21日)
: 死者約9万8800人、戦車喪失2988両、装甲車両5969両(「ウ」国防省12月19日)
: 死傷者7~8万人前後、装甲車両喪失3~4千両(米国防省8月8日)
「ウ」軍: 死者約9千人(「ウ」軍8月22日)
「ウ」市民: 死者6755人以上、負傷者1万607人以上(OHCHR12月12日)

ベラルーシ反体制派メディアは、**同国南部ホメリ州で露軍の医療部隊バス18両からなる車列が目撃された**と報道。同メディアは、**この規模の医療部隊車列が確認されたのは今春「ウ」北部に侵攻した露軍部隊が撃破された時期以来と指摘**(12月16日)

- プーチン大統領は「特別軍事作戦」参加軍種の統合司令部を視察(12月17日)
- ショイグ国防相は、南部軍管区(司令部:ロストフ・ナ・ドヌー)を訪問し、「特別軍事作戦」実施地域を上空から視察(12月18日)
- プーチン大統領はベラルーシを訪問し、ルカシェンコ大統領と会談(12月19日)

- 露軍が「ウ」全土の重要インフラに対しミサイル76発による攻撃を加え、「ウ」軍はうち61発を撃墜した旨発表(12月16日)
- キーウ市政府は、上記のミサイル76発のうち、約40発がキーウに対する攻撃(うち37発を撃墜)と発表(12月16日)
- 12月18日から19日にかけて露軍がイラン製UAV約35機で「ウ」各地を攻撃し、「ウ」軍はうち30機を撃墜した旨発表(12月19日)

「ウ」軍参謀本部は、ヘルソン州のドニプロ川東岸のノヴァ・カホウカ及びカホウカに所在する露軍部隊が年末までにニジニ・シロホジ(ノヴァ・カホウカの東約80km)に撤退する情報ありと発表(12月17日)

「ウ」軍参謀本部は、露軍がヘルソン州・クリミア自治共和国の境界において防衛線の強化を続けるとともに、クリミア半島(14年以降露が占領)への水利施設(北クリミア用水等)の防衛のため、動員兵部隊を派遣した旨発表(12月16日)

「ウ」軍参謀本部は、露軍がドネツク州バフムート及びアウジーウカ付近において「ウ」軍陣地に対する攻撃を継続している旨指摘(12月19日)

- 主要都市
- ✈️ 主要軍施設
- 💣 露軍による攻撃が報じられた主な地点
- 露軍が占領した地点
- 🔥 侵略開始後に露軍が占領し保持している地域
- 🛡️ ウクライナ軍が奪還した地域

